

中期目標の達成状況に関する評価結果

国立大学法人島根大学

法人番号：67

申立ての内容	申立てへの対応
<p>【評価項目】 I 教育に関する目標 3. 優れた点、改善を要する点、特色ある点 (改善を要する点)</p> <p>【原文】 (改善を要する点) ○ 中期計画「既卒者に対する就職支援を強化するため、就業状況や求人情報を取りまとめた情報システムを整備する」について、就職相談の案内のみで、情報提供のためのシステム整備は十分に進捗しているとはいえないことから、改善することが望まれる。</p> <p>【申立内容】 削除願いたい</p> <p>【理由】 (1) 計画4-2に定める「情報システムを整備する」計画については、「中期目標の達成状況報告書」に記載した、「相談案内を載せ、既卒者からの就職相談に電話、メールで対応している。」のとおり、すでに達成しており、「就職相談の案内のみ」であるとの指摘は事実と反する。 すなわち、ホームページ上に既卒者向け相談案内を載せ、相談窓口（キャリアセンター）・連絡先（電話番号・メールアドレス）を明示し、収集した中途採用情報を学外に公開できる範囲で提供することにより、実際に既卒者の相談を受付けて指導・助言の支援を行うことができるシステムを計画通り整えた。 (2) なお、「平成20年度からは中途採用情報の収集、既卒者向け情報コーナーの設</p>	<p>【対応】 意見を踏まえ、記載の一部を修正する。</p> <p>【理由】 適切な表現とするため、以下のとおり修正する。</p> <p>「中期計画「既卒者に対する就職支援を強化するため、就業状況や求人情報を取りまとめた情報システムを整備する」について、<u>就職相談のみ</u>で、情報提供のためのシステム整備は十分に進捗しているとはいえないことから、改善することが望まれる。」</p>

<p>置により、在學生と同様な情報提供が行えるシステムを整備する」と記載した趣旨は、上記（１）のホームページを通じた情報提供・相談システムの運用に加え、平成 20 年度からは、キャリアセンターに設置した既卒者向け情報コーナーを訪れた既卒者に対して、新たに「在學生と同様な」詳細な情報提供が行えるように整備している、ということである。</p>	
--	--

学部・研究科等の教育に関する現況分析結果

国立大学法人島根大学

法人番号：67

学部・研究科等番号・名称：03 教育学部

申立ての内容	申立てへの対応
<p>【評価項目】 I 教育水準 1. 教育の実施体制</p> <p>【判断理由】</p> <p>【原文】 1. 教育の実施体制 <u>期待される水準にある</u></p> <p>[判断理由] 「基本的組織の編成」については、教員養成特化型の1課程学部へ改組し、学生教育のための専攻組織と研究のための講座組織に分離するなど、学部の総力を教員養成に集中し、現代的な教育課題や地域のニーズに即応できる教育研究組織を整備しているなどの優れた取組を行っていることから、期待される水準を上回ると判断される。</p> <p>「教育内容、教育方法の改善に向けて取り組む体制」については、1,000時間体験学修を企画・運営する「附属教育支援センター」の設置等、授業改善、教育課程改善を含む学生教育全般の改革を推進する体制が整備されており、<u>相応な取組を行っている</u>ことから、<u>期待される水準にある</u>と判断される。</p> <p>以上の点について、教育学部の目的・特徴を踏まえつつ総合的に勘案した結果、教育の実施体制は、教育学部が想定している関係者の「<u>期待される水準にある</u>」と判断される。</p> <p>【申立内容】 【修正文案】の通り変更願いたい</p> <p>【修正文案】</p>	<p>【対応】 原案のとおりとする。</p> <p>【理由】 本観点の判定に関する判断理由は、「附属教育支援センター」の設置等の授業改善を含む学生教育全般の改革を推進する体制が整備されていることを根拠にしているが、これをもって「期待される水準を上回る」という判定にはならないため。</p>

<p>1. 教育の実施体制 <u>期待される水準を上回る</u> [判断理由] 「基本的組織の編成」については、教員養成特化型の1課程学部へ改組し、学生教育のための専攻組織と研究のための講座組織に分離するなど、学部の総力を教員養成に集中し、現代的教育課題や地域のニーズに即応できる教育研究組織を整備しているなどの優れた取組を行っていることから、期待される水準を上回ると判断される。</p> <p>「教育内容、教育方法の改善に向けて取り組む体制」については、1,000時間体験学修を企画・運営する「附属教育支援センター」の設置等、授業改善、教育課程改善を含む学生教育全般の改革を推進する体制が整備されており、<u>優れた取組を行っていることから、期待される水準を上回ると判断される。</u></p> <p>以上の点について、教育学部の目的・特徴を踏まえつつ総合的に勘案した結果、教育の実施体制は、教育学部が想定している関係者の「<u>期待される水準を上回る</u>」と判断される。</p> <p>【理由】</p> <p>1,000時間体験学修を企画運営する「附属教育支援センター」と全教育課程の検証・改善を組織的に実施する「附属FD戦略センター」は、全国の教員養成系大学・学部へ先駆けて設置した、本学教育学部の極めて特色あるかつ効果的な組織改編であると思料する。教員養成専門学部の人材養成目標を着実に達成し、教育内容・方法等の絶えざる改善を図るために学部自らが開発した組織であり、実施した取組である。これら二つのセンター組織が計画・実施した教育内容・方法に関する改善努力は、「教員養成GP」（平成17～18年度）および「特色GP」（平成19～21年度）に採択されている。</p>	
--	--

さらに、上記のごとく、本学教育学部は第一期中期目標期間に、教育の実施体制に自ら積極的な改善努力を傾注してきた。それらの成果は、「外部評価委員会」の高い評価を受けているだけではなく、全国の教員養成系大学・学部在先駆けて「国による事業開始初年度（平成17年度）での教員養成GPの採択」、および「教育改善の実績を踏まえて選考される特色GPの採択」という成果をもたらしている。

また、本評価報告書の「Ⅲ 質の向上度の判断」においても、この二つのセンターの設置については、「大きく改善、向上している、または、高い質（水準）を維持している」の評価をいただいております、その取組が高く評価されている。

以上のような実績を段階判定にあたって十分に考慮いただいているか、ご検討いただきたい。

学部・研究科等の教育に関する現況分析結果

国立大学法人島根大学

法人番号：67

学部・研究科等番号・名称：03 教育学部

申立ての内容	申立てへの対応
<p>【評価項目】 I 教育水準 3. 教育方法</p> <p>【判断理由】</p> <p>【原文】 3. 教育方法 <u>期待される水準にある</u></p> <p>[判断理由] 「授業形態の組合せと学習指導法の工夫」については、「専門知識・技能」の修得と「学校教員としての教育実践力」とを架橋する「〇〇科内容構成研究」の設定や、体験学習を必修化するなど、独自の取組がなされており、優れた取組を行っていることから、期待される水準を上回ると判断される。</p> <p>「主体的な学習を促す取組」については、<u>支援センター教員の配置やプロファイルシート・システムの開発等、多彩な工夫が見られ、相応な取組を行っていることから、期待される水準にあると判断される。</u></p> <p>以上の点について、教育学部の目的・特徴を踏まえつつ総合的に勘案した結果、教育方法は、教育学部が想定している関係者の「<u>期待される水準にある</u>」と判断される。</p> <p>【申立内容】 【修正文案】の通り変更願いたい</p> <p>【修正文案】 3. 教育方法 <u>期待される水準を上回る</u></p> <p>[判断理由] 「授業形態の組合せと学習指導法の工夫」</p>	<p>【対応】 原案のとおりとする。</p> <p>【理由】 本観点の判定に関する主な判断理由である「プロファイルシート・システム」の開発等については、主体的な学習を促す多彩な工夫として取り上げているが、これをもって「期待される水準を上回る」という判定にはならないため。</p>

については、「専門知識・技能」の修得と「学校教員としての教育実践力」とを架橋する「〇〇科内容構成研究」の設定や、体験学習を必修化するなど、独自の取組がなされており、優れた取組を行っていることから、期待される水準を上回ると判断される。

「主体的な学習を促す取組」については、専攻の決定について学生の主体的学習を促す仕組みを取り入れるとともに、1,000時間体験学修においても学生による自主的選択を可能とする多様なメニューを準備し、また、プロファイルシート・システムの開発等、多彩な工夫が見られ、優れた取組を行っていることから、期待される水準を上回ると判断される。

以上の点について、教育学部の目的・特徴を踏まえつつ総合的に勘案した結果、教育方法は、教育学部が想定している関係者の「期待される水準を上回る」と判断される。

【理由】

プロファイルシート・システムの開発について、本取組は、学生の成長を跡付け、学生一人ひとりが教師としての自らの資質の向上、力量の成長を「可視化する」ことを目的として、本学教育学部が考案し実践している特色ある教育活動である。これらの「多彩な工夫」は、他の教育系大学・学部も注目する実践的取組であり、「教員養成GP」および「特色GP」の採択に現れているように客観的に大きな評価を得ている取組である。

さらに、本評価報告書の「Ⅲ 質の向上度の判断」においても、「主・副専攻制の実施」、「プロファイルシート・システムの開発と実践」等の事例について「大きく改善、向上している、または、高い質（水準）を維持している」の評価をいただいております。本学部の取組が高く評価されている

<p>。</p> <p>以上のような実績を段階判定にあたって十分に考慮いただいているか、ご検討いただきたい。</p>	
--	--

学部・研究科等の教育に関する現況分析結果

国立大学法人島根大学

法人番号：67

学部・研究科等番号・名称：05 医学部

申立ての内容	申立てへの対応
<p>【評価項目】 I 教育水準 2. 教育内容</p> <p>【判断理由】</p> <p>【原文】 [判断理由] 「学生や社会からの要請への対応」については、<u>入学に地域枠、社会人だけでなく学士入学にも設定している。</u></p> <p>【申立内容】 上記について文意を確認したい。</p>	<p>【対応】 判断理由の一部を修正する。</p> <p>【理由】 判断理由に誤記があり、判断理由を明確にするため、以下のとおり修正する。</p> <p>○判断理由 「学生や社会からの要請への対応」については、<u>入学試験において、学士入学学生にも地域枠を設定している。</u></p>